



2019年11月8日  
株式会社 阿波銀行

## 2020年3月期 第2四半期（中間期）決算について

阿波銀行（頭取 長岡奨）は本日、2020年3月期 第2四半期（2019年4月1日～2019年9月30日）の単体および連結決算を発表しましたので、お知らせいたします。

### 1. 2020年3月期 第2四半期（中間期）の主要計数（単体）

主要計数	2020年3月期 第2四半期（中間期）	前年同期比
総預金平均残高（譲渡性預金を含む）	2兆9,344億円	899億円 増加
貸出金平均残高	1兆8,883億円	681億円 増加
コア業務純益	69億72百万円	4億89百万円 減益
経常利益	82億98百万円	6億7百万円 増益
中間純利益	58億7百万円	3億60百万円 増益
金融再生法開示債権比率	2.35%	0.02ポイント低下
自己資本比率（連結）	10.82%	0.65ポイント低下

### 2. 決算ハイライト

- 総預金平均残高は、法人預金、個人預金および公金預金がそれぞれ順調に推移したことから、前年同期比899億円増加しました。  
貸出金平均残高についても徳島県内をはじめ関東地区、関西地区のいずれにおいても順調に推移し、同681億円増加しました。
- コア業務純益は、資金利益、役務取引等利益が増益となったものの、新営業店端末の導入等システム投資により経費が増加したことなどから、同4億円減益の69億円となりました。
- 経常利益および中間純利益は、実質与信費用が減少したほか、有価証券関係損益が増益となったことなどから、同6億円増益の82億円、同3億円増益の58億円となりました。
- 自己資本比率（連結）は、内部留保の充実や保有資産の健全性が反映され、10.82%と引続き高い水準となりました。

### 3. 2020年3月期の業績見通し（単体）

- 2020年3月期通期の業績（単体）については、マイナス金利政策の継続が予想されるものの、緩やかな景気回復のもと、資金利益および役務取引等利益の増益を見込んでおり、以下の通り業績予想を修正いたします。

	今回予想	前回予想	比較
コア業務純益	155億円	155億円	修正なし
経常利益	154億円	150億円	+4億円
当期純利益	109億円	106億円	+3億円

詳しくは[決算短信](#)をご覧ください。

以上